





# らくらく介護用品

### ③ 排泄用品

生まれた時と高齢期、誰もが世話になるのがおむつ。とはいっても、これだけブライドが傷つき、気力を失うこともあるので、タイミングをはかり、本人の納得のいく時点で使用することが大切です。



### おむつのタイプ

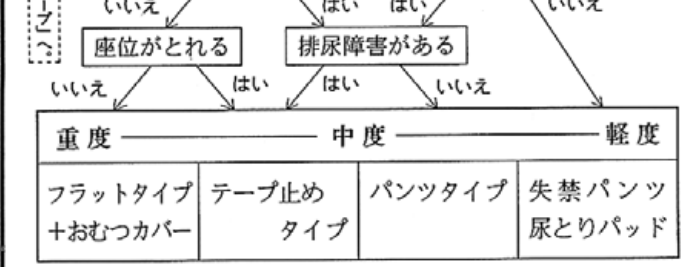
材質からすると、尿を吸収しても戻らず、べとつき感がない紙が主流になっています。紙おむつの使い方は、①吸収量の大きいフラットタイプ+おむつカバー、②一般

### 失禁パンツ

男性用のトランクスや女性用のショーツなど、一見それとは分らないおむつのようなものがあります。

### おむつ使用証明書

おむつは医療費控除の対象になります。おむつ使用証明書が必要で、医師に書いてもらいます。



## リハビリテーションとは？

### ④ バリアフリー

過去三回にわたり五省会ニュースで、リハビリテーション(以下リハ)について説明してきましたが、最終回である今回は、健康な障害者として再び社会復帰するリハの本来的な目的を達成するための重要なバリアフリーという考えについて説明します。

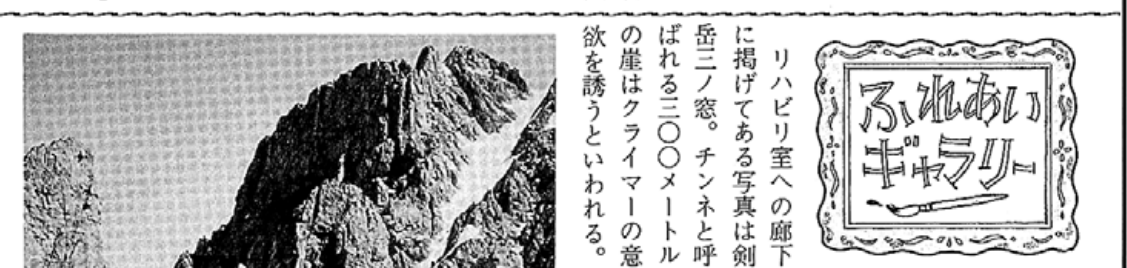


### 住宅・社会・心のバリアフリー

障害者の社会復帰に必要なのは、物理的なバリアフリーだけでなく、心理的なバリアフリーも重要です。

### 風呂場と段差

障害を持つ人が自宅生活するためには、本人の能力に合わせて自宅の段差などの障壁(バリア)を無くす必要があります。



### 剣岳(三ノ窓) 奥村昌央

作品は、前西能病院現高山医科薬科大学泌尿器学教室長奥村昌央の奥村昌央医師が、標高一六〇〇メートルまで登り、二日間晴れ間を待つ「マッチ箱」のピクチャーから撮影したもので、奥村医師は登山家でもあり、本年六月、富山県山岳連盟カラコルム遠征隊でも、パキスタンのマッシュヤールに挑戦している。

## 大切な社員教育

### 病院の窓口の対応が重要

西能 明治生まれの母たちのしたたかさを誇らしげに生きています。お母さんにはおいくつですか。

吉友 九十五歳なんですよ。

西能 ほお、うちの吉友は九十三歳で亡くなりました。

吉友 同世代だったんだね。

西能 母は九十歳を過ぎて、横浜から来て富山県人になったんですもの、生きていくのが大変なんです。

吉友 近頃はもう、生きていくのが大変なんです。心がついていないんです。

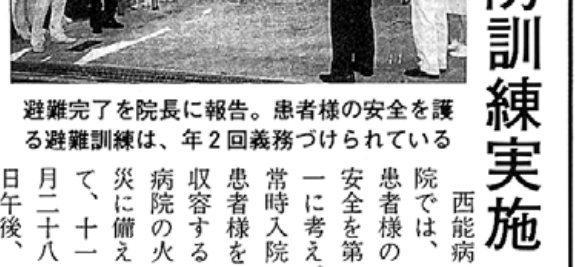
西能 そう、心がついていないんです。心がついていないんです。心がついていないんです。

西能 近頃はもう、生きていくのが大変なんです。心がついていないんです。

吉友 そう、心がついていないんです。心がついていないんです。心がついていないんです。

西能 近頃はもう、生きていくのが大変なんです。心がついていないんです。

## 自衛消防訓練実施



西能病院では、患者様の安全を確保するために、毎年2回義務づけられている自衛消防訓練を実施しました。

## 西能病院大運動会

### チームワークを競う



秋真っ盛りの十月三十一日、第十九回西能病院大運動会が、富山市西部農村環境改善センター体育館で開催されました。

## 健康教室④

### 人間ドックのアウトライン

講師=田村 和氏医師

人間ドックは予約が必要ですが、当日は事前の注意に従って来院してください。

西能病院 人間ドック

人間ドックは予約が必要ですが、当日は事前の注意に従って来院してください。

## 健康教室⑤

### 骨粗鬆症について

講師=西能 誠院長

年をとれば骨量は低下しますが、女性に比べて男性は骨密度が低く、骨粗鬆症になりやすいです。

骨粗鬆症は自覚症状がないので、とまどいやすい病気です。骨密度測定で診断します。

## いまを生きる

西能正一郎対談シリーズ

「だめな人も良くするように研修しないと」と吉友さん

西能 そうですね。現場の仕事は、お母さんやお父さん、お孫さん、おひ孫さん、みんなを育てていくのが、現場の仕事です。

## いまを生きる

西能正一郎対談シリーズ

「社員教育の仕事が必要になるわけですね」と西能理事長

西能 はい、はい。社員教育は、病院にとって非常に重要な仕事です。



# 「看護の翼」・上海へ飛ぶ

## ～ 西能病院から二人が参加 ～



曙光病院前での記念撮影

富山県、県医師会、県看護協会など主催の第七回「看護の翼」(稲田まつ江県看護協会)は、派遣団員二十六人、及び顧問、参与、管理者らあわせて三十三人を乗せて十月十三日名古屋空港を出発、上海市に向かった。上海の十七階建ての近代的病院を視察、上海、蘇州の名所へ、古跡を見学したあと、十月十七日、名古屋空港に帰着した。西能病院からは、看護部の三原八重子婦長と奥平美和子主任が参加した。

### 十七階建ての近代的曙光病院と友好交流

## 十七階建ての近代的曙光病院と友好交流

日程をみると、十三日は上海のホテルで一泊。十四日午前、上海市大型総合中野病院の一つである曙光病院を訪問友好交流を深めた。午後バスで蘇州市へ。寒山寺など市内を観光した。同夜は蘇州のホテルで一泊、十五日午前は蘇州市内を観光、午後上海の豫園などを見学した。同夜は上海に一泊、十六日は上海市内の玉伝寺などを訪れた。同夜は上海に一泊、十七日上海空港を出発、名古屋空港に着した。

## 新しい顔と古い顔が魅力たっぷりの蘇州

高層ビルの建設ラッシュが続く、新しい顔と昔ながらの顔があり、現在は中国一の経済都市上海。洋風建築が建ち並ぶ外灘(がいたん)、下町情緒の残る豫園(よえん)。又東洋のベニスという別名をもつ蘇州。拙政(せつせい)園や虎丘(こきゅう)、中国版ピサの斜塔、張継の詩で有名な寒山寺、又二千年の歴史を持つ蘇州の刺繍等、魅力たっぷり。

今回、一九二二年に創立された上海薬科大学附属病院の一つ上海の曙光病院を表敬訪問、漢方薬病院としても活動しております。四泊五日と短い期間でしたが、他の団員の方と楽しい交流をもつこともでき、いい思い出を作ることでもできました。(奥平美和子主任)

## 朝礼のスピーチが



横山健一著の「座右の銘」を読んでいて、印象深い言葉に出合っ

た。作曲家の遠藤実氏が挙げた座右の銘は「世の中の冷たさを、わが師に」であった。他人から馬鹿にされたり、さげすまれたり、

## 障害を生かして前進を

ついでに。又、乙武洋志氏は、先天性四肢切断の身体障害を持って生まれてきたが、それには、何か意味があるのではな

いかに考えた。障害者に出来ないこと。障害や悔しい思いを自分の宝としてとらえ強い精神力と忍耐で乗り越え、自身の成長のバネにしてほしい。(看護部主任 上不雅子)

## 素晴らしい発展途上 貧富の差がはげしい

中国は、発展途上国だけあって近代的高層ビルや高速道路はすばらしいの一言につきるものでした。しかしその一方には古い家がまだ沢山立ち並んでおり、私は、さかかった子供の頃、貧しくて生活が大変だった

## 病院だより

### 十月

十一日 互助会が大岡山CCでゴルフ大会、五省会役員、ドクター職員ら十五人が腕前を競った。  
十七日 十八日 職員旅行の第三班が和倉温泉美湯荘へ。  
二十四日 二十五日 職員旅行の第四班が和倉温泉美湯荘へ。

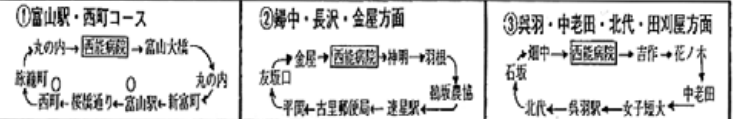
### 十一月

三十日 西能理事長が上市町ハートピア富山つるぎで、「膀胱炎と褥創について」講演。主催は県身体障害者福祉協会。  
十九日 第十回院内研究発表会を五階ホールで開催。  
十九日 富山全日空ホテルで忘年会。

# 診療体制のご案内



通院バスのご案内



休日診療 (日曜日・祝日)		平日診療 (月曜日～土曜日)	
午前8時30分～午後5時	整形外科	整形外科	脊椎外来
	内科	内科	泌尿器科外来
	リハビリテーション科	糖尿病外来	神経内科外来
		眼科外来	人間ドック
	循環器外来	画像センター MRI・CT・骨密度	スポーツ整形外科
			体力測定
			栄養指導
			在宅診療・看護